

30年以上前に、私の自家用車の中で「爆発事故」がありました。猛暑・炎天下の駐車場に1時間以上車を停めたあと、車に戻った時に異変を感じました。ドリンクホルダーに置いてあった未開封の「缶ジンジャーエール」が、不気味にカタカタと揺れているのです。私は咄嗟に危険を感知し、一歩下がったとたんに、その缶ジンジャーエールは爆発しました。大爆発と言っても良いでしょう。車の中は「ジンジャーエールの霧」で真っ白になり、座席もダッシュボードも窓もベタベタ。ホラー映画の一場面のように変わり果てていました。

この爆発の原因は二酸化炭素です。多くの気体は、溶媒の温度が上昇すると溶解度は落ちます。それで缶の耐圧値よりも内圧が勝って、爆発したのでしょう。缶は内側からめくり上がるように破断していました。

先日ある知人が「すごい実験をした」とその「実験結果」を見せてくれました。見れば破壊されたペットボトルのようです。丈夫なペットボトルにドライアイスを入れて、蓋をしてお風呂の湯船に浮かべた結果だということです。しばらく置くと、お風呂場から爆発音がして、その結果がこの状態だそうです。ペットボトルの耐圧値を上回って二酸化炭素気圧値が上昇したのですから、ものすごい力です。感心するやら呆れるやら、これは授業ではできないと思いました。

(2023年9月中旬)

